

社会福祉協議会会長賞

堺市立 美原西中学校 二年

大野 蓮華

明るい社会を築くために

「日本は、平和で安全な国だ。明るい社会も築けている。」そう言いたいところですが、犯罪や非行が、一定数存在することは否定できません。新聞やテレビのニュースでも、殺人・誘拐・詐欺、といった犯罪に関わる情報が毎日必ずと言っていいほど流れてきます。私の身近なところでも、犯罪はあります。例えば、地域で不審者が出たとの情報や頻繁にあつたり、最近では、市に脅迫メールが届いて集団下校をした、ということもありました。

もっと身近なところ、学校生活の中でも、犯罪が存在します。「いじめ」です。私は、「いじめ」は、単なるトラブルではなく、犯罪行為だと思っています。大人の世界でも、職場でのパワーハラスメントといったことも問題になっていますが、それも、人の心や体を傷つけるのであれば、それも立派な犯罪だと思っています。

また、最近特に深刻だと思えるものは、ネット犯罪です。インターネットが広く普及しているこの時代、誰でも簡単に情報を流すことができます。それを悪用した犯罪が頻繁に起こっています。

ネットの怖いところは、知らない人に自分の個人情報が流れてしまう可能性があるということです。皆がスマホを持ち、ネットを扱える今、誰でも知らないうちに犯罪に巻き込まれる可能性があります。また、被害を受けるだけでなく、加害者になってしまいう場合もあります。ネットの扱い方を理解していない子供が、誤って個人情報や写真を流してしまったり、面白半分で顔も見えない相手に暴言を吐き、そのまま訴えられてしまうといったことなどです。私も、SNS系ゲームやツイッターなどを見ているときに、個人情報や特定されてしまうような投稿をしている人を見たことがあります。他にも、実際には見ただけではありませんが、子供が動画投稿サイトにあげた動画にその人が住んでいる地域のカレンダーが映っていて、そこから住所が特定されたり、とある有名人に対して暴言を吐き、結果その有名人は自殺してしまいその暴言を吐いた人たちが責任が問われるという事例が存在します。

世の中の犯罪を全て無くすことは不可能だ。そんなことを言う人もいますが、無くすことはたしかに難しいかもしれませんが、

減らすことはできるのではないかと私は思っています。

なぜ、人は犯罪を起こすのでしょうか。私は、人は誰でも、一般的に「悪」とされるような心を持っている、全く持たないことは無理だ、そんな人はいない、と思っています。私にも、「あの人は嫌。いなくなればいいのに。」と思ってしまうことは、実際にあります。誰もが「悪」の心を持っていながら、それを行動に出さずか出さないか、その差なのだと思います。では、行動に出してしまう、犯罪行為をしてしまう人たちは、なぜそうしてしまうのか。私は、やはり、その人たちに、人とのつながりや社会とのつながりが薄いことが原因としてあると思います。

犯罪行為をしてしまう人の多くは、生活の中で苦しさや困難を抱えながらも、それを助けてもらえるような人、支えてもらえるような人、相談できるような人がいない、つまり孤立状態にあると言われています。そして、一度犯罪行為をしてしまえば、その人は、形罰を受けることとなります。中には、それによって更生する人もいれば、更生できずさらに孤立し、再び犯罪に手を染めてしまう人もいます。

明るい社会を築くには、私は、人を受け入れてあげることが大切だと思います。社会には様々な人がいて、そのすべての人が、社会のどこかで受け入れられるような環境にすることが大切だと思います。そうすれば、一度犯罪行為をしてしまった人も、心を

入れ替えて安心して社会に復帰しようという気持ちになるのではないかと思います。そして、この社会から犯罪が減っていくのではないかと思います。

私も、そういう明るい社会を築き支える、社会人になりたいと思います。

